

長野市における「あいさつ運動」取組状況

第一地区住民自治協議会

地区内小中学校の登下校時に、通学路、横断歩道にて、交通安全指導をかねて、地区の役員が声かけあいさつ運動を実施している。

第二地区住民自治協議会

以前から、地区内小中学校の通学路で、住民自治協議会役員、区長などが登下校見守り活動の中で「あいさつ運動」を行っていた。今年度ははじめ、長野県主催「信州あいさつ運動」に登録し、現在、毎日、役員など20名程度が活動を行っている。

妻科自治会（※自治会：第四地区内）

1. 平成26年4月13日の平成26年度妻科町定例総会の事業テーマとして、「ひと声あいさつ運動」が採択されました。顔が合えば挨拶や立ち話をする、という町民全員参加で取り組む運動です。
2. 平成26年5月20日、県の「信州あいさつ運動」に賛助団体として加入しました。「信州あいさつ運動」の啓発ポスターに賛同団体妻科自治会を記載し、A3に拡大してラミネート加工をし、町内の自治会掲示板に掲示し、町民の啓発を図っています。
3. 平成26年9月11日、妻科町婦人会の祖山会長をはじめとした11名が参加して、つましな保育園前でのぼり旗を立て、たすきをかけて園児、保護者にあいさつの声掛けを実施しました。

芹田地区住民自治協議会

児童が家庭や地域で積極的にあいさつできるようにと、毎年、地区内小学校5校周辺で5・8・1月の長期休業明けに、地区内16区の役員、育成会役員、民生委員などが県から借りたのぼり旗を持って通学路や交差点に立ち、「あいさつ運動」を実施している。今年度は、長野県主催「信州あいさつ運動」をきっかけに、8月は日数を増やし（例年5日、今年8日）、活動している。

三輪地区住民自治協議会

以前から、地区内小学校の通学路で、住民自治協議会役員・委員やボランティアのみなさんが登下校時の見守り活動の中で「あいさつ運動」を行っています。

古里住民自治協議会

● 古里住民自治協議会は、徳間小学校区と古里小学校区と信州大学付属と東北中学校があり、古里地区内が通学路となっているため、毎日登校時及び下校時に、地区内の通学路に子どもを守る会(会員数100名程度)のメンバーが古里地区と徳間地区に分かれて常時30名程度が子ども達の安全を見守りながら「おはよう」「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」の声かけの運動をしている。小学校から中学校まで継続した活動で、青少年育成委員を兼務している人は、子ども達と9年間もの間継続しているために、子ども達との信頼関係が築かれている。古里小学校では、年度の始めに全校集会で各地区メンバー代表者が紹介されて新年度がスタートしている。青少年育成委員と子どもを守る会は、更に連携強化した活動を目指していきたい。

● 平成22年4月から東北中学校と話し合い、月1回程度部活の無い一斉下校日(16時15分～17時頃)に、住民自治協議会の青少年育成委員9名が校門に立ち、「サヨナラ」「気をつけて帰りなさい」と声をかける運動を始め、今年で5年目となり、生徒たちとは勿論のこと、一部の先生方と意見を交わすこともでき、学校の様子もある程度理解できるようになってきている。年度の始めには、全校集会でメンバーの自己紹介と生徒達にメッセージを渡し、1年のスタートをする事で、青少年育成委員と生徒達との融和を図っている。住民自治協議会としては、もっと多くの先生方やPTAの方に参加していただき大きな運動になればと願っています。

柳原地区住民自治協議会

平成20年度区長会を中心に「あいさつ運動」について協議。

平成21年度、柳原地区住民自治協議会の事業としてあいさつ運動を開始。

各区では、あいさつ通りを設定。のぼり旗、タスキを作成し、各区へ配付。毎年4月と9月を強化月とし、役員を中心に街頭でのあいさつを行っている。

地区内の小学校・中学校にも協力を依頼。

浅川地区住民自治協議会(青少年育成委員会)

「おはようから始まる元気な一日」を合言葉に、地区内小学校・中学校正門前で、毎年春(6月)、秋(10月)の2回(各月5日間)、「愛の声かけ運動」を6団体合同(青少年育成委員会・地区少年警察ボランティア協会・小中学校PTA・放課後子どもプラン運営委員会)で実施しています。

また、毎月1回青少年育成委員会の地区内巡回実施時に名札・タスキを着用し、声かけ運動を実施しています。(特に8月の夏季休業時は中学校校外指導部、防犯協会と合同で実施)

その他、小学校・青少年育成委員・安心の家との懇談会において、長野市、長野県では「信州あいさつ運動」を実施しているので、安心の家の方にも声かけ運動を実施するよう依頼をしています。

大豆島地区住民自治協議会

○ 毎月1回、第1月曜日の朝、小学生の登校時に更生保護女性会の役員が、あいさつ運動を行っている。役員は「たすき」を掛けて通学路に立っている。

朝陽地区住民自治協議会

平成2年から「青少年育成朝陽地区会議」が主体で、休むことなく現在まで継続して実施して定着化している運動です。

平成22年から住民自治協議会が発足し、住民自治協議会の「教育・文化部会」がその事業を引き継いでからは、通年運動として白い幟旗を公民館玄関等、人の集まる場所に掲出しています。

特に6月と9月は強調月間と位置づけ、登校時間帯に主に青少年育成朝陽地区会議、各地区育成会を中心に公民館、長寿会等各種団体の協力をいただき通学区を主体とした街頭で、通年の幟旗とは別に黄色の幟旗も掲げ、たすきをかけて、声掛けをしながらあいさつしています。

朝陽小学校の児童各々に標語入りのポスターを作成して頂き、ラミネート加工をして地区内各地に掲示しています。

さらに朝陽小学校の児童に標語を応募して頂き、数点を選んで「短冊」を作成し、全戸配布して家庭内での「あいさつ」の必要性の啓蒙活動をしています。地区内の企業の皆様にも、チラシを配り協力して頂いています。

26年度始め、長野県主催の「信州あいさつ運動」に登録していて、支給された「チラシ」は6月の強調月間に配布し有効に活用致しました。

なお、平成24年度応募のあった標語(72件)の中で短冊にした作品は次の2点です。

「あいさつは 心を開く あい言葉」(朝陽小学校 3年生)

「あいさつで みんなでつくろう 笑顔の輪」(朝陽小学校 6年生)

若槻地区住民自治協議会

平成26年6月14日に「コミわかあいさつ運動」の発足住民集会を行い、7月1日から地区内で運動がスタートし、11月、3月にも地区全体のイベントを予定。

集会では、標語・ポスター・作文の発表もあった。

毎月1日、地区内の11区では、区役員などが通学路などの主要な場所で、独自に作成したのぼり旗とたすきを用いて運動を行っている。また、独自に作成したシールを地区内の協賛店に渡し、運動をPRしている。

長沼地区住民自治協議会

① 平成22年5月から始まった「あいさつ運動」は、平成26年度で5年目を迎えています。

② 毎年5月、9月、1月の第一月曜日を「あいさつ運動」の実施日と決めて、育成会と連携して小学校PTAの方々と「児童の登校指導」と「あいさつ運動」を周知し推進している。

③ また、ボランティアで実施している登校・下校の「安心安全パトロール」の際にも、「交通安全指導」と「あいさつ運動」の推進をおこなっている。

安茂里地区住民自治協議会

○ さわやかあいさつ(愛の声かけ)運動の実施について

1. ねらい

***青少年のすこやかな成長を願うため

2. 期間

***毎年6月中の5日間と10月中の5日間

3. 歴史

***平成16年10月から始め、今年の10月で23回目

4. 時間

***18地区の36地点で朝7時から8時の間のおおむね、児童・生徒の通学時間帯に行っている。

5. 参加者

***区長連絡会に依頼し、各地区の諸団体並びに主旨に賛同する住民から構成している。また、参加者は標語入りタスキをかけ、周辺に標語入りの桃太郎旗を掲示しながら行っている

6. 本部での取り扱い

***期間中、安茂里支所広告塔に「標語懸垂幕」を掲揚する

7. その他

***毎回実施後にアンケートを実施し、次に生かしている。

芋井地区住民自治協議会

第64回社会を明るくする運動(7月1日～7月31日)で地区内に「あいさつ運動」のポスターを掲出し推進をはかった。

篠ノ井地区住民自治協議会

平成25年6月から「篠ノ井あいさつ運動」が始まる。篠ノ井あいさつ運動実行委員会が中心となり、毎月11日を「あいさつの日」と定め、篠ノ井駅2階通路等で街頭行動を行っている。地区の高校(長野俊英、更科農業、篠ノ井)も1校ずつ担当月に参加。

のぼり旗、たすきを作成し各地区、学校等に配布。会議・イベント、交通安全指導、安心安全パトロールなどの際にも、たすきをかけてあいさつ運動を周知し推進する。

松代地区住民自治協議会

松代青少年育成委員会では、年5回巡回指導を行っている。会員が3班に分かれ、遊んでいる子供たちや下校途中の生徒たちに声掛けやあいさつをしながら補導指導などの活動を行っている。

稲里町地区(※更北地区内)

稲里町地区内では、住民自治協前の稲里町ふれあいネットワーク会議の平成19年より、あいさつ(声かけ)運動、毎月2回、8区、及び30自治区で実施を開始した。以後7年にわたり続けている。

(学校が休みの日は翌日に行う)

戸隠地区住民自治協議会

戸隠地区住民自治協議会では、現在改まったの挨拶運動は実施していません。

理由は戸隠小学校、戸隠中学校の児童生徒の挨拶が気持ちよく行えているからです。

特に中学校生徒は地域において、生徒から元気のよい挨拶がされ、大人の方が後になって言葉を返す姿も見られます。

ですから、このほどまとめた「戸隠教育」の中には、地域の大人から子ども達に挨拶することを提案したり、地区の行事に子どもが改まって挨拶等をする場の設定をお願いしたりしています。

ただ、最近、校内では元気に挨拶している児童生徒が地域の大人に対してあまり挨拶をしなくなっているのではないかという声も聞かれるようになってきたので、今後、挨拶について、担当委員会で挨拶運動の実施も含めて検討していこうと考えています。